

(別記様式第11号) (第3の8関係)

(下伊那 地域)

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伝統食文化「ろくべん」復活伝承事業
事業主体 (連絡先)	大鹿村観光協会 0265-39-2929
事業区分	(6) 産業振興・雇用拡大に関する事業 (ア)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,480,756 円 うち支援金：1,470,000 円

事業内容

① 「ろくべん」専門パンフレット作成事業

1) ろくべんのある風景ページ

「ろくべんに寄せる村人のことば」の紹介

2) ろくべんの解説ページ

教科書的な概要説明・歌舞伎との関わりや他地域との比較・語源説などを代表的なろくべんの外観と共に紹介

3) ろくべん料理の説明ページ

昔のろくべん料理と今のろくべん料理を紹介し、食材が持つ意味の説明と思い歌舞伎との思い出から、家族で作るろくべんの楽しみや 収穫への感謝の心の持ち方などを伝える。

4) さまざまな「ろくべん」の解説ページ

さまざまな段数のろくべん（重箱付き・徳利付きなど）の紹介

5) 地域おこしに繋がるよう紹介ページ

古文書から献立を紹介し、江戸時代へタイムスリップし、食への感謝の気持ち自然の雄大さを知り、旬の物の美味しさは味だけではないことを伝える。

自己評価（事業実施率）【 A 】

事業効果

「ろくべん」の歴史を知った上で食して戴く事で昔の家族や楽しみ方から「ろくべん」がもつ意味を各個々が感じとり、食への感謝の気持ちを持って戴けるようになったと感じます。

高齢の村民の方の協力におきまして、昔の話や、家族の話をする事により、記憶が蘇ると楽しいと快く参加協力して戴けた。又、お声掛けが広まり多くの方から情報を提供して戴けたことは、この事業を通して、村民が楽しく前向きな考えを持ち伝えて残す食文化「ろくべん」として復活活動への参加が出来たことは大変良い事と考えます。

【 目標 ・ ねらい 】

- ろくべんの歴史や生活から生まれた知恵を知り「楽しむ食」をPRする。
- 大鹿村のろくべん「ろくべんは大鹿村」という定着した存在にする

自己評価（目標達成率）【 A 】

事業内容

② ろくべん勉強会の実施

- 第1回目 日時：平成20年5月22日（木）
場所：大鹿村交流センター
内容：ろくべん素材研究及び味付け研究
- 第2回目 日時：平成20年7月14日（月）
場所：大鹿村交流センター
内容：夏野菜を使った「ろくべん」研究
川魚の煮付け講習
- 第3回目 日時：平成20年9月15日（月）
場所：大鹿村交流センター
内容：秋野菜を使った「ろくべん」研究
お月見ろくべん
- 第4回目 日時：平成20年10月27日（月）
場所：大鹿村交流センター
内容：保存食の作り方
味ごはんのコツ

自己評価（事業実施率）【 A 】

事業効果

ろくべんに使う素材を知り、その素材が持っている本来の味・効果を研究する事により五感で味うことが出来る昔ながらの味付け方法を習得した上で、現代の味付けとのギャップを少なくし失ってはいけない「味」と伝えなければならない料理法を習得した。保存食としての「食材」から自然の恵みの生かし方や、食材を生み出す自然界への感謝の気持ちを持って戴けるような美術的盛付等の研究により「ろくべん」以外の提供料理に生かす事が出来ている。大鹿村ならではの「ろくべん」技術を習得したことにより、正月料理への応用も出来、お客様からの満足感の声も戴くようになった。

【 目標 ・ ねらい 】

- 食材の知恵・役割・色彩・味など必ず受け継がなければならない事項を伝授してもらい習得し、「本物ろくべん」を提供できるようにする

自己評価（目標達成率）【 A 】

事業内容

③ ろくべんイベントの開催

第1回目 お月見で「ろくべん」を楽しもう

日時：平成20年9月15日（月）
午後7時～

場所：大西公園

内容：「ろくべん」と「琵琶演奏」で十五夜を情緒豊かに過ごそう

第2回目 卒業おめでとう 「大鹿村の伝統食」を楽しもう

日時：平成21年3月12日（木）
午後12時30分～

場所：大鹿中学校ランチルーム

内容：大鹿村に伝わる伝統食「ろくべん」を知ってもらい、自分の育った村にある文化を誇りに思っ、食材の素晴らしさを感じてもらおう。

事業効果

歌舞伎時だけの物と思われていた「ろくべん」を、情緒豊かな場での一役に使う事で、その時間を彩り、心豊かになる事、食材からのメッセージを読み取る楽しさを知り、その風景に溶け込ませる事で「五感で戴く食としてのろくべん」に仕立て、どこか懐かしく、違う記憶の中から「ろくべん」を通して時代の流れが与えてくれる「時間の癒し」を作る事が出来たと思う。中学校での「食文化伝承」ろくべんには、沢山の感想の中に「大鹿村に伝わって来たものを大切にしたい」「昔の人の知恵はすごい」「自分も作ってみたい」と言ったものがあり、大変嬉しく、残さなくてはならない「大鹿村ならではの ろくべん」へ関心を抱いてもらう事の第一歩になったと思う。

自己評価（目標達成率）【 A 】

今後の取り組み

ろくべんの歴史を知り技術的にも習得できた。今後は、残していく為の方法として今年度諸事情にてやむなく中止した「小学児童」と「ろくべんを作ろう」を再計画村内の子供達と一緒に「ろくべん」を作り、伝え、記憶の箱に入れてもらう。関心を持つ事が伝承に繋がって行くと考えています。又「大鹿村のろくべん」の知名度を上げ、南信州 大鹿村をより多くの方に知って戴けるようなPRに努める